

## 海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2019年第4四半期（10月～12月）分）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

#### (1) 治安情勢

○ ドバイ警察は、2019年12月16日、犯罪組織の首謀者としてICPO手配を受けていたリドゥアン・タギ容疑者（モロッコ生まれのオランダ国籍）を、ドバイ市内の高級住宅地にて逮捕したと発表した。同人は、欧州を拠点として世界的な薬物取引を行う犯罪組織のリーダーであったとされ、また、欧州、アフリカ等で発生した少なくとも20件の殺人事件に関与したことが疑われている。

同人は、2016年に他人名義の旅券等を用いてドバイに入国。自己名義での商品購入や取引はほとんど行わず、外出もしないなど、細心の注意を払って潜伏していたとされる。ドバイ警察は、監視カメラ画像のほか膨大な量のデータや情報を分析し、同人の居場所を特定したと述べている。

○ ドバイ警察は、2019年中、合計で1,560キログラムの禁止薬物（末端価格15億ディルハム相当）を押収し、3,128人を逮捕するとともに、薬物に関連する58のインターネット・サイトを閉鎖したと発表した。

一方、同警察は2020年2月、1回の薬物押収量としてはこれまでに最も多い5,656キログラムのカプタゴン（精神刺激薬）を押収したと発表。末端価格は3,580万ディルハム相当。本件に関係し、密輸組織のリーダーを含むアラブ系の4人を逮捕したとしている。

#### (2) テロ

特記事項なし。

#### (3) デモ・騒擾等

特記事項なし

#### (4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

#### (5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

### 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

#### (1) 殺人等

##### ○ ドバイ首長国（12月20日発生）

ジェベル・アリ警察署管内において、27歳のネパール人の男が、会社の寮で同僚と言い争いになった後、複数回にわたって同人を刃物で刺した。被害者は病院に搬送されたが死亡した。犯人は逮捕され、「脅す意図だけだった」と殺意を否認したが、胸部の刺傷は深く内蔵まで達しており、殺人罪で訴追された。なお、犯行当時、犯人及び被害者の双方とも、アルコールの影響下にあったとされる。

##### ○ ラス・ル・ハイマ首長国（12月報道）

アジア人の男性が、同じくアジア人の友人とともに郊外で飲酒していた際、口論となり、割れた瓶を用いて友人の頸部を複数回にわたって刺し、殺害した。犯人は被害者を放置したまま

自家用車で逃走したが、事後、警察によって逮捕された。なお、犯行当時、犯人及び被害者の双方とも、アルコールの影響下にあったとされる。

## (2) 強盗等

### ○ ドバイ首長国 (10月8日生)

外国人の男が、シティ・ウォークに所在するアパートに不法に侵入し、現金、貴金属等 300 万ディルハム相当を窃取して逃走した。男は事件 2 日前に入国し、ナーイフ地区に所在するホテルに宿泊していたが、犯行直後、事前に情報を得ていた警察が犯人の滞在先ホテルを捜索し、犯人を逮捕するとともに被害品を押収した。犯人は、犯行前にアバヤ（全身を覆う女性用の黒い衣装）に着替えて犯行現場まで赴き、犯行後は別の服に着替えて逃走したとされる。

### ○ ラアス・ル・ハイマ首長国 (10月31日報道)

アフリカ系の 4 人組の男が、ATM を破壊して現金を窃取しようと試みたものの、未遂に終わり、逃走。破壊された ATM を認知した現地警察が、付近の監視カメラ画像等の解析をもとに犯人らを割り出し、犯行から 24 時間以内に 4 人全員を逮捕した。

### ○ ドバイ首長国 (11月30日発生)

アル・サトワ地区の路上において、午後 10 時頃、32 歳のインド人女性が徒歩で移動中、23 歳のパキスタン人男性が後方から突然近づき、女性が身につけていた金のネックレスを強引に窃取しようとした。女性が叫び声を上げたところ、付近を通りがかった男性らが逃走した犯人を追跡し、身柄を確保した。

### ○ ドバイ首長国 (12月16日発生)

アル・クオズ地区の路上において、午後 9 時半頃、7 人組の強盗犯グループが、両替商から出てきた車両を急襲し、約 66 万ディルハムが入ったブリーフケースを強奪した。犯人は全員パキスタン人で、金属製の棒やナイフを用いて被害者を脅迫して現金を奪って逃走したが、捜査の結果、後に逮捕された。

## (3) 強姦・強制わいせつ

### ○ ドバイ首長国 (11月1日発生)

アル・マンザル公園（ドバイ北部、シャルジャとの境に近い海岸沿いに所在）において、36 歳のスーダン人の男が、家族で同公園に遊びに来ていた家族の 7 歳の娘を自己の車に乗せ、強いてわいせつな行為をした。犯人は父親らによって身柄を確保され、逮捕された。

### ○ ドバイ首長国 (12月4日発生)

パキスタン人の宅配員が、午後 8 時頃、自転車の宅配のために訪問した先の英国人女性に対し、承諾なくキスをするなど、強いてわいせつな行為をした。

## 3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。